

薬剂委员会结果报告



2026年1月7日 開催

➤ 薬剂マスタ登録: 1月15日予定



新規採用申請医薬品

商品名	テネリアOD錠20mg		
成分名 メーカー	テネリグリプチン臭化水素酸塩 田辺三菱製薬株式会社	薬価	98.3円/錠
効能・効果	2型糖尿病		
用法・用量	テネリグリプチンとして20mgを1日1回経口投与する。なお効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら40mg1日1回に増量することができる		
分類	普通薬	保管条件	室温保存
製剤写真			
	本体写真	PTP	
粉砕	不可 不可の場合理由: OD錠であるため	分包	可
使用成績調査 等対象品目	なし	流通 備考	なし
特記事項	<ul style="list-style-type: none">✓ 肝機能障害時の注意事項: なし✓ 腎機能障害時の注意事項: なし✓ 調剤・調製に関する注意事項: なし✓ レセプト上の注意事項: なし✓ その他: なし		

新規採用申請医薬品

商品名	ベオーバ錠50mg		
成分名 メーカー	ビベグロン 杏林製薬株式会社	薬価	146.1円/錠
効能・効果	過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁		
用法・用量	ビベグロンとして50mgを1日1回食後に経口投与する。		
分類	普通薬	保管条件	室温保存
製剤写真			
	本体写真	PTP	
粉砕	可	分包	可
使用成績調査 等対象品目	なし	流通 備考	・代替削除品：ベタニス錠25mg
特記事項	<ul style="list-style-type: none">✓ 肝機能障害時の注意事項：高度の肝機能障害のある患者にはビベグロンの血中濃度が増加するおそれがあるので慎重に投与。✓ 腎機能障害時の注意事項：なし✓ 調剤・調製に関する注意事項：なし✓ レセプト上の注意事項：なし✓ その他：なし		

新規採用申請医薬品

商品名	デュピクセント皮下注200mgペン		
成分名	デュピルマブ	薬価	39,706.9円/本
メーカー	サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社		
効能・効果	アトピー性皮膚炎、特発性の慢性蕁麻疹、気管支喘息（200mgペンの適応疾患を抜粋）		
用法・用量	<p>〈アトピー性皮膚炎〉 生後6ヵ月以上の小児にはデュピルマブとして体重に応じて以下を皮下投与する。5kg以上15kg未満：1回200mgを4週間隔、15kg以上30kg未満：1回300mgを4週間隔、30kg以上60kg未満：初回に400mg、その後は1回200mgを2週間隔、60kg以上：初回に600mg、その後は1回300mgを2週間隔</p> <p>〈特発性の慢性蕁麻疹〉 12歳以上の小児にはデュピルマブとして体重に応じて以下を皮下投与する。30kg以上60kg未満：初回に400mg、その後は1回200mgを2週間隔、60kg以上：初回に600mg、その後は1回300mgを2週間隔</p> <p>〈気管支喘息〉 6歳以上12歳未満の小児にはデュピルマブとして体重に応じて以下を皮下投与する。15kg以上30kg未満：1回300mgを4週間隔、30kg以上1回200mgを2週間隔</p>		
分類	劇薬	保管条件	凍結を避け2～8℃にて保存
製剤写真			
	本体写真	包装写真	
使用成績調査等対象品目	なし	流通備考	・代替削除品：デュピクセント皮下注200mgシリンジ

新規採用申請医薬品

特記事項	<div>✓ 肝機能障害時の注意事項:なし</div> <div>✓ 腎機能障害時の注意事項:なし</div> <div>✓ 調剤・調製に関する注意事項:投与前に30分以上かけて室温に戻しておくことが望ましい</div> <div>✓ レセプト上の注意事項:アトピー性皮膚炎、気管支喘息の適応症は、最適使用推進ガイドライン対象品目</div> <div>✓ その他:なし</div>
------	---



新規採用申請医薬品

商品名	プラリアHI皮下注60mgシリンジ0.5mL		
成分名	デノスマブ	薬価	24,939円/筒
メーカー	第一三共株式会社		
効能・効果	骨粗鬆症、関節リウマチに伴う骨びらの進行抑制		
用法・用量	<p>〈骨粗鬆症〉 通常、成人にはデノスマブ（遺伝子組換え）として60mgを6カ月に1回、皮下投与する。</p> <p>〈関節リウマチに伴う骨びらの進行抑制〉 通常、成人にはデノスマブ（遺伝子組換え）として60mgを6カ月に1回、皮下投与する。なお、6カ月に1回の投与においても、骨びらの進行が認められる場合には、3カ月に1回、皮下投与することができる。</p>		
分類	劇薬	保管条件	凍結を避け2～8℃にて保存
製剤写真		 	
	本体写真	包装写真	
使用成績調査等対象品目	なし	流通備考	・代替削除品：プラリア皮下注60mgシリンジ



新規採用申請医薬品

特記事項	<div>✓ 肝機能障害時の注意事項:なし</div> <div>✓ 腎機能障害時の注意事項: 重度の腎機能障害患者では低カルシウム血症を起こすおそれが高いため、慎重に投与すること</div> <div>✓ 調剤・調製に関する注意事項: 冷温による不快感等を防ぐため、室温に戻してから投与することが推奨</div> <div>✓ レセプト上の注意事項:なし</div> <div>✓ その他:L-フェニルアラニンを添加剤に含有しているため、フェニルケトン尿症の患者では慎重に投与</div>
------	---


院外採用申請医薬品

商品名	クービビック錠25mg、50mg		
成分名 メーカー	ダリドレキサント塩酸塩 塩野義製薬株式会社	薬価	25mg:57.3円/錠 50mg:90.8円/錠
効能・効果	不眠症		
用法・用量	ダリドレキサントとして1日1回50mgを就寝直前に経口投与する。 なお、患者の状態に応じて1日1回25mgを投与することができる。		
分類	普通薬	保管条件	室温保存
製剤写真			
	本体写真	PTP	
粉砕	可	分包	不可 不可の場合理由: 当院調剤内規による
使用成績調査 等対象品目	なし	流通 備考	・なし
特記事項	<ul style="list-style-type: none">✓ 肝機能障害時の注意事項: 重度の肝機能障害 (Child-Pugh分類C) のある患者: 本剤を投与しないこと。✓ 腎機能障害時の注意事項: なし✓ 調剤・調製に関する注意事項: なし✓ レセプト上の注意事項: なし✓ その他: なし		

院外採用申請医薬品

商品名	ボルズイ錠2.5mg、5mg		
成分名 メーカー	ボルノレキサント塩酸塩 MeijiSeikaファルマ株式会社/大正製薬株式会社	薬価	2.5mg: 47.8円/錠 5mg: 71.3円/錠
効能・効果	不眠症		
用法・用量	ボルノレキサントとして1日1回5mgを就寝直前に経口投与する。 なお、症状により適宜増減するが、1日1回10mgを超えないこととする。		
分類	普通薬	保管条件	室温保存
製剤写真			
	本体写真	PTP	
粉砕	可	分包	不可 不可の場合理由: 当院調剤内規による
使用成績調査 等対象品目	市販直後調査 販売開始日(2025年11月27日)から6カ月間(2026年5月26日)	流通 備考	・2.5mg錠は限定出荷中
特記事項	<ul style="list-style-type: none">✓ 肝機能障害時の注意事項: 重度の肝機能障害のある患者は禁忌。中等度肝機能障害患者(Child-Pugh 分類B)では、ボルノレキサントの血漿中濃度が上昇し、傾眠等の副作用が増強するおそれがあるため、1日1回2.5mgとすること。✓ 腎機能障害時の注意事項: なし✓ 調剤・調製に関する注意事項: 5mg錠のみ割線あり。✓ レセプト上の注意事項: なし✓ その他: なし		

仮採用申請医薬品

商品名	アラグリオ内用剤1.5g		
成分名	アミノレブリン酸塩酸塩	薬価	75,985.9円/瓶
メーカー	日本化薬株式会社		
効能・効果	経尿道的膀胱腫瘍切除術時における筋層非浸潤性膀胱癌の可視化		
用法・用量	アミノレブリン酸塩酸塩として20mg/ kgを、膀胱鏡挿入2～8時間前に、水に溶解して経口投与する。		
分類	普通薬	保管条件	室温保存
製剤写真			
	本体写真		PTP・包装写真
使用成績調査等対象品目	なし	流通備考	なし
特記事項	✓ 肝機能障害時の注意事項:肝機能障害のある患者を対象とした臨床試験は実施していない ✓ 腎機能障害時の注意事項:腎機能障害のある患者を対象とした臨床試験は実施していない ✓ 調剤・調製に関する注意事項:なし ✓ レセプト上の注意事項:なし ✓ その他:なし		

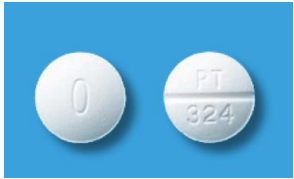

仮採用申請医薬品

商品名	コートリル錠10mg		
成分名 メーカー	ヒドロコルチゾン ファイザー株式会社	薬価	7.4円/錠
効能・効果	○慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH単独欠損症 ○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）○エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症 ○ネフローゼ及びネフローゼ症候群 ○気管支喘息、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病 ○重症感染症（化学療法と併用する）○溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血 ○限局性腸炎、潰瘍性大腸炎 ○重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）○慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）○サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）○肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心臓炎（抗結核剤と併用する）○脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎 ○悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移 ○特発性低血糖症 ○原因不明の発熱 ○副腎摘除、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲 ○蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）○卵管整形術後の癒着防止		

仮採用申請医薬品

効能・効果	○湿疹・皮膚炎群(急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性 皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児 湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚 炎、進行 性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の 湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮 膚炎など)(但し、重症例以外は極力投与しないこと)、痒疹群(小 児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む)(重症例に限る)、蕁麻疹(慢性例を除く)(重症例に限る)、乾癬及び類症[尋 常性乾癬(重症例)、乾癬性関節炎、乾癬性 紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群]、掌蹠膿疱 症(重 症例に限る)、成年性浮腫性硬化症、紅斑症(多形滲出性 紅斑、結節性紅斑)(但し、多形滲出 性紅斑の場合は重症例に限る)、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群[開口部びらん 性 外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候 群、ベーチェット病(眼症状のない場合)、リップシュッツ急性陰 門潰瘍]、円形脱毛症(悪性型に限る)、天疱瘡群(尋常性天疱 瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher症候群、増殖性天疱瘡)、デューリング疱疹状皮膚炎(類天疱 瘡、妊娠性疱疹を含む)、紅皮症(ヘブ ラ紅 色皰癬疹を含む)、顔面播種状粟粒狼瘡(重症例に 限る)、アレルギー性血管炎及びその類症(急性痘瘡様苔癬状皰癬疹を含む) ○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法(ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗 尖端部症候群、眼筋麻痺)、外眼部及び前眼部の炎症 性疾患の対症 療法で点眼が不適當又は不十分な場合(眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹 彩毛様体炎) ○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及び メニエル症候群、急性感音 性難聴、アレルギー性鼻炎、花粉症(枯 草熱)、進行性壊疽性鼻炎、食道の炎症(腐蝕性食道炎、直達鏡使 用後)及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 ○難治性口内炎及び 舌炎(局所療法で治癒しないもの)		
用法・用量	成人にはヒドロコルチゾンとして1日10～120mgを1～4回に分割して経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。		
分類	普通薬	保管条件	室温保存

仮採用申請医薬品

製剤写真				
	本体写真		PTP	
粉砕	可		分包	可
使用成績調査 等対象品目	なし		流通 備考	なし
特記事項	<ul style="list-style-type: none">✓ 肝機能障害時の注意事項: 肝硬変の患者では代謝が低下し、作用が増強するおそれがある。✓ 腎機能障害時の注意事項: 腎不全の患者では排泄が低下し、作用が増強するおそれがある。✓ 調剤・調製に関する注意事項: なし✓ レセプト上の注意事項: なし✓ その他: なし			

8. 検討事項およびその他の報告

一般名処方マスタの追加について

下記採用品目について2025年12月18日より一般名処方可能となっているため、一般名処方マスタを作成する

先発品名称	一般名処方時の名称	適応相違
エフィエント錠3.75mg	【般】プラスゲレル錠3.75mg	有
エフィエント錠5mg	【般】プラスゲレル錠5mg	無
エフィエントOD錠20mg	【般】プラスゲレル口腔内崩壊錠20mg	無
ザイティガ錠250mg	【般】アビラテロン酢酸エステル錠250mg	無
ビムパット錠50mg	【般】ラコサミド錠50mg	無
ビムパット錠100mg	【般】ラコサミド錠100mg	無
フォシーガ錠5mg	【般】ダパグリフロジン錠5mg	有
フォシーガ錠10mg	【般】ダパグリフロジン錠10mg	有

検討事項およびその他の報告

院内採用品の切替について

採用中止医薬品	切替医薬品
タルチレリン錠5mg「JG」	タルチレリンOD錠5mg「サワイ」
トコフェロールニコチン酸エステル カプセル200mg「ホリイ」	トコフェロールニコチン酸エステル カプセル200mg「サワイ」
パロキセチン錠10mg「DSEP」	パロキセチン錠10mg「サワイ」